

## 第1日目 9月20日 (土) 午後

開始時刻	第 1 会 場	第 2 会 場
	〈農業・農村〉	〈都市・交通〉
13:00	101 橋爪孝介 (筑波大・院) ほか：長野県佐久市における内水面養殖業の変容 (1) —佐久鯉に着目して	201 塩崎大輔* (北海道大・院) ・橋本雄一 (北海道大) : 札幌市における都市開発の変化
13:20	102 児玉恵理 (筑波大・院) ほか：長野県佐久市における内水面養殖業の変容 (2) —水田養魚に着目して	202 小泉 諒* (首都大・研) ・川口太郎 (明治大) : 2000年代における東京都心部のマンシオン供給の空間的パターン
13:40	103 助重雄久 (富山国際大) : 移住者による地域産業の再生—山口県周防大島町を例として	203 佐久間美帆* (横浜市立大・学) ・後藤 寛 (横浜市立大) : 東京都心における外資系企業本社の立地傾向—外資系企業誘致に向けて
	〈歴史・文化〉	
14:00	104 飯塚 遼 (首都大・学振DC) : イングランド農山村地域における住民のライフスタイルとルーラル・ジェントリフィケーション—ダービーシャー・グリンドルフオード村を事例として	204 楡引素夫 (青森大) : 整備新幹線の開業に関する地理学的視点からの論点整理—東北・北海道新幹線の事例から
14:20	105 清水克志 (秀明大) : 昭和戦前期における野菜種子生産の進展—外来野菜の普及との関わりを中心に	〈地域計画・地域政策〉
14:40	106 荒木一視 (山口大) : 戦前期の朝鮮半島をめぐる食料貿易	205 劉 英威 (神戸大・院) : 山東省青島市における膠南大学城の開発と近郊地域の変容
15:00	107 花木宏直 (琉球大) : 近代首里の地域形成に及ぼす不在者の役割	206 中村 努 (高知大) : 台湾における医療供給体制の階層性と公平性
15:20	108 春日あゆか (京都大) : 煤煙削減技術の導入と評価—1820年代ロンドン水道会社を事例として	207 佐竹泰和* (東京大・院) ・荒井良雄 (東京大) : 離島におけるインターネット利用の特徴—東京都小笠原村と島根県海士町の事例
15:40	109 河島一仁 (立命館大) : 20世紀のウェールズと北アイルランドにおける野外博物館の創出—「地理学出身者」の活動を中心に	〈経済・産業〉
16:00	110 轟 博志 (立命館アジア太平洋大) : 朝鮮王朝時代における『山経表』の系譜	208 上村博昭* (東京大・院) ・菅本健二 (早稲田大) : 遠隔離島における電子商取引の浸透と商工業への影響—小笠原父島の事例
16:20	111 吉村健司 (総合研究大学院大・学振DC) : 漁業日誌からみる近海カツオ漁における漁場利用特性	209 石丸哲史* (福岡教育大) ・友澤和夫 (広島大) : 北海道における起業家行動と起業・創業支援環境
16:40	112 細井将右 (地図情報研) : クレットマンコレクションの地形図—『習志野原及周回村落圖』, 『下志津及周回村落圖』	210 岡本勝規 (富山高専) : 地方港周辺における中古車貿易業の集積—伏木富山港周辺を事例に
17:00		211 宮町良広 (大分大) : 対日直接投資の経済地理学的研究

## 第1日目 9月20日（土） 午後

第 3 会 場	第 4 会 場	開始時刻
<p>〈地域研究・海外地誌〉</p>	<p>〈気候〉</p>	
301 日野正輝（東北大）ほか：デリー南郊におけるアーバン・ビレッジの居住者特性	401 平野勇二郎*・一ノ瀬俊明（国立環境研）：衛星観測データを用いた都市域における地表面熱収支の解析	13:00
302 宇根義己（広島大）：経済成長下のインドにおける婚礼用伝統衣服の流通構造—デリーのサリー類卸売業を事例に	402 Ichinose Toshiaki* (National Inst. for Env. Studies) and Lin Ye (Nagoya Univ.) : Wind tunnel experiments on investigating the effects of building materials on flow field under heating conditions	13:20
303 浅田晴久（奈良女子大）：インド、ブラマブトラ川氾濫原に暮らすムスリム移民の生業	403 日下博幸（筑波大）ほか：空間詳細な気温観測によるヒートアイランド強度の不確実性の検討	13:40
304 高橋 誠*・伊賀聖屋（名古屋大）：インド洋大津波後のアチェにおけるエビ養殖業の復興状況	404 池田亮作*・日下博幸（筑波大）：街区スケールの熱環境シミュレーションのための都市気象モデルの開発	14:00
305 高木 仁（総合研究大学院大・院）：カリブ海の漁場利用—東ニカラグア、ミスキート諸島の事例	405 中島 虹*（首都大・院）・高橋日出男（首都大）：連続した海風日における大気汚染物質濃度の時間変化	14:20
306 関根良平（東北大）ほか：中国内モンゴにおける農民專業合作社の地域的展開 その2—呼和浩特市の生鮮野菜通信販売を事例として	406 澤田康徳（東京学芸大）：毎時および日降水資料による関東地方の夏期における降水量の階級別発現頻度の地域性	14:40
307 山田耕生（帝京大）：インドネシア農村地域における伝統文化を活用した観光の可能性	407 高根雄也（産業技術総合研）ほか：岐阜県多治見市周辺における猛暑の気候学的特徴	15:00
308 申 知燕（東京大・研）：ニューヨークにおけるトランスナショナルな移住とコリアタウンの社会空間的再構成	408 花井嘉夫*（信州大・院）・榊原保志（信州大）：移動観測による晴天日における長野県下の気圧分布広域測定	15:20
309 高橋昂輝（日本大・学振DC）：トロントにおけるリトルポルトガルの脱ポルトガル化—ジェントリフィケーションの進行と経営者の社会関係に着目して	409 田中博春（長野県環境保全研）ほか：長野県の気候変動適応策導入に向けた動き	15:40
<p>〈観光〉</p>	410 田宮兵衛：日本の四季	16:00
310 太田 慧（首都大・学振DC）：南房総における民宿地域の変容—南房総市岩井地区を事例に	411 植田宏昭（筑波大）：冬季日本の降雪変動と熱帯からの遠隔強制	16:20
311 坂口 豪（首都大・院）：糸魚川世界ジオパークにおける酒造業とジオパークの関わり		
312 鷹取泰子*（農政調査委員会）・佐々木リディア（首都大）：農村志向の移住起業家によるルーラル・ツーリズムの構築—北海道十勝管内における起業家の諸活動と協働の事例から		16:40
		17:00

## 第1日目 9月20日 (土) 午後

開始時刻	第 5 会 場	第 6 会 場
	<p>シンポジウムS01 (公開)</p> <p>平成の大合併の総括と 合併自治体の新しい動き</p> <p>主催) 日本地理学会理事会 日本地理学会都市地理学研究グループ</p> <p>オーガナイザー: 西原 純 (静岡大)・日野正輝 (東北大)・阿部和俊 (愛知教育大・名誉)</p> <p>開始時刻 13:00</p> <p>司会: 阿部和俊・日野正輝・西原 純</p>	<p>シンポジウムS02 (公開)</p> <p>北陸におけるジオパークの現状と課題 —地域の性格から引き出される ジオストーリー—</p> <p>主催) 日本地理学会ジオパーク対応委員会</p> <p>開始時刻 13:00</p>
	<p>S0101 13:00~13:10 (趣旨説明) 西原 純 (静岡大): 平成の大合併の総括と 合併自治体の新しい動き</p>	<p>(趣旨説明) 13:00~13:05 有馬貴之 (帝京大) 座長: 有馬貴之</p>
	<p>S0102 13:10~14:00 (基調講演) 森 雅志 (富山市長): 富山市の合併とま ちづくり</p>	<p>S0201 13:05~13:25 田林 明 (筑波大・名誉): 北陸地方の地域 性とは何か</p>
	<p>〈休憩〉 14:00~14:05</p>	<p>S0202 13:25~13:40 畑中健徳*・吉川博輔 (恐竜溪谷ふくい勝山 ジオパーク推進協議会): 恐竜溪谷ふくい勝 山ジオパークにおけるジオストーリー—恐竜 はどこにいたのか? 大地が動き、大陸から勝 山へ—</p>
	<p>〈報告〉 14:05~15:25</p>	<p>S0203 13:40~14:00 日比野 剛 (白山手取川ジオパーク推進協議 会) ほか: 白山手取川ジオパークにおけるジ オストーリー—「水の旅」と「石の旅」</p>
	<p>S0103 森川 洋 (広島大・名誉): 平成の大合併の 帰趨と将来の市町村の姿</p>	<p>〈休憩〉 14:00~14:10</p>
	<p>S0104 須山盛彰 (富山地学会): 富山県の市町村合 併の歩みと平成の大合併</p>	<p>座長: 中井達郎 (国土館大)</p>
	<p>S0104 福島 茂 (名城大): 超広域合併都市の出現 とその地域政策・空間管理</p>	<p>S0204 14:10~14:30 水嶋一雄 (立山黒部ジオパーク推進協議会) ほか: 「立山黒部」の魅力をつなげる38億年 ×高低差4,000mの時空の旅</p>
	<p>S0106 佐藤正志 (静岡大): 被・非合併自治体にお ける公民連携の実情とあり方</p>	<p>S0205 14:30~14:50 渡辺成剛 (糸魚川ジオパーク協議会): 日本 列島 東西文化が会うまち—糸魚川ジオ パークの魅力</p>
	<p>〈休憩〉 15:25~15:35</p>	<p>S0206 14:40~15:00 菊地俊夫 (首都大): 北陸地方のジオパーク のおもしろさは何か—共通性と違い</p>
	<p>〈総合討論〉 15:35~16:55 パネリスト: 酒井敏行 (富山市企画管理部企 画調整課長)・森川 洋・須山盛彰・福島 茂・佐藤正志</p> <p>司会: 阿部和俊・日野正輝・西原 純</p>	<p>〈総合討議〉 15:00~15:40 座長: 菊地俊夫・有馬貴之</p>
	<p>〈まとめ〉 16:55~17:00 西原 純</p> <p>終了時刻 17:00</p>	<p>終了時刻 15:40</p>

## 第1日目 9月20日 (土) 午後

第 7 会 場	第 8 会 場	開始時刻
<p>〈地形〉</p> <p>701 古川理央 (東京大・院) ほか: 日本海上越沖コアの元素分析からみた飛騨山脈北部流域の最終間氷期以降の環境変動</p>	<p>〈自然保護〉</p> <p>801 竹本弘幸 (拓殖大): 論文不正と災害の実像</p>	13:00
<p>702 Kay Thwe Hlaing* (Mie Univ.) et al.: Fluvial environmental changes of the Ayeyarwady Delta near Hinthada Borecore Area</p>	<p>802 辻村千尋 (日本自然保護協会): リニア中央新幹線の自然保護問題</p>	13:20
<p>703 福井幸太郎* (富山県立山カルデラ砂防博物館) ほか: 立山カルデラの温泉の池「新湯」で発生した湯枯れ</p>	<p>〈植生〉</p> <p>803 吉田圭一郎 (横浜国立大): 太平洋島嶼における外来植物による影響の地理的差異</p>	13:40
<p>704 白濱吉起* (東京大・院) ほか: 表面照射年代法によって示されたチベット高原北縁 Kumkol盆地における第四紀後期の変動地形発達過程</p>	<p>804 今野明咲香 (東北大・院): 完新世の火山活動が湿原の形成過程に及ぼす影響—八幡平山系を例にして</p>	14:00
<p>705 大畑雅彦 (東北大・院): 能登半島北岸の完新世海成段丘と地殻変動</p>	<p>〈水文〉</p> <p>805 田林 雄* (筑波大) ほか: 龍泉洞周辺地域における地表水・地下水の水文・水質特性と地質条件</p>	14:20
<p>706 大上隆史 (中央大): 養老山地および鈴鹿山地の東斜面における河床縦断形</p>	<p>806 加藤晶子*・堤 克裕 (千葉県環境研究センター): 鉄鋼スラグ埋立地の浸出水が流入する河川の水質連続モニタリング</p>	14:40
<p>707 小野映介* (新潟大) ほか: 京都盆地における始良Tn火山灰の堆積状況</p>	<p>807 森 和紀 (日本大): 水文気象要素の経年変化と“異常気象年”の河川水質</p>	15:00
<p>708 藁谷哲也 (日本大): アンコール遺跡を構成する砂岩ブロックの風化に与える熱環境の影響</p>	<p>808 沼尻治樹 (日本測量協会): 鹿ノ子ダムで設定したパラメータを使用した常呂川流域の流出モデル</p>	15:20
<p>〈地理情報〉</p> <p>709 鈴木晃志郎 (富山大): 遍在する、隠れた神としての電子地理情報技術—地理情報科学における倫理的課題について</p>		15:40
<p>710 若林芳樹 (首都大): 空間的思考力の構成とその規定因</p>		16:00
<p>711 田中雅大 (首都大・学振DC): ボランティアな地理情報による「可能にする空間」の創出</p>		16:20
<p>712 山田育穂* (中央大)・岡部篤行 (青山学院大): 解析対象変数の分布形がMoranのI 統計量の裾野分布に及ぼす影響</p>		16:40
		17:00

## 第2日目 9月21日 (日) 午前

開始時刻	第 1 会 場	第 2 会 場
		〈人口〉
9:00		212 荒堀智彦（首都大・院）：2009年新型インフルエンザA(H1N1)pdmの流行とローカルな伝播過程
9:20		213 小池司朗（国立社会保障・人口問題研）：2010年国勢調査の人口移動集計における都道府県間移動数の補正
9:40		214 北島晴美（信州大）：老衰死亡率の季節変化
10:00		215 佐藤 将（横浜市立大・院）：東京大都市圏郊外における子育て世帯の居住地移動—川崎市麻生区の事例
10:20	〈社会問題〉	
	113 渡辺和之（立命館大・非）：原発事故による畜産被害（その3）—福島県南相馬市における酪農家の事例	216 桐村 喬（東京大）：東京・京阪神大都市圏における若年未婚単身世帯のコーホート分析—1990～2010年
10:40	114 戴 萍萍（金沢大・院）：廃棄物処理場の立地を巡る住民参加について—久留米市宮の陣新ごみ処理施設建設問題を事例に	〈地域計画・地域政策〉
		217 山内昌和（国立社会保障・人口問題研）：地域人口の将来推計における出生指標選択の影響—都道府県別の分析
11:00	〈土地利用〉	
	115 Sayed Marju Ben* (Graduate Student, Mie Univ.) and Haruyama Shigeko (Mie Univ.): Land use Change and Agricultural Land Transformation: A case study of Manikganj Pourashova, Bangladesh	218 花岡和聖*（東北大）・カラチヨニイ デイ ヴィッド（ハンガリー科学アカデミー）：チェルノブイリ原発事故被災地の人口変化—福島への復興に向けて
11:20	116 米島万有子（PD・立命館大）：二条城堀の蚊の発生問題にみる歴史的景観「堀」に対する住民意識	219 阿部智恵子*（石川県立看護大）・若林芳樹（首都大）：市町村合併にともなう保育サービスの变化—石川県かほく市を事例に
11:40	117 廣瀬俊介（東京大・研）：地理学を生かしたランドスケイプデザイン #3—和歌山県吉備町における景観生態学の都市計画への応用を例として	220 實 清隆（奈良大・名誉）：富山における公共交通によるまちづくり
12:00	-----	
	昼 休 み	

## 第2日目 9月21日（日） 午前

第 3 会 場	第 4 会 場	開始時刻
		9:00
<p>〈災害〉</p> <p>313 荻谷愛彦*（専修大）・松四雄騎（京都大）：立山東面・タンボ沢で発見された岩石なだれ堆積物</p>		9:20
<p>314 金 幸隆（神奈川県温泉地学研）ほか：過去三回の関東地震の発生履歴と地殻変動の蓄積との関係—三浦半島南部の谷底低地の微地形分析からの考察</p>		9:40
	〈気候〉	
<p>315 阿子島 功（山形大・名誉）：2014年7月梅雨前線による山形県南陽市の大雨被害と防災図の検証</p>	<p>412 中川清隆（立正大）ほか：上信越山岳域における2013年8月晴天日の気温日較差と気圧日較差の関係</p>	10:00
<p>316 楢原京子（山口大）ほか：佐賀平野における極浅層反射法地震探査</p>	<p>413 渡来 靖（立正大）ほか：2013年10月9日に北陸地方で発生したフェーンにおける山岳斜面に沿った温位分布の特徴</p>	10:20
<p>317 中埜貴元（国土地理院）ほか：地中レーダ（GPR）探査による鬼怒川旧河道の浅部地下構造調査</p>	<p>414 重田祥範（立正大）ほか：谷川岳山麓の気象観測データを用いたフェーン発現日の抽出</p>	10:40
<p>318 橋本雄一（北海道大）：北海道沿岸における津波災害リスクに関する空間分析（1）—津波浸水想定データによる浸水地域人口の推定</p>	<p>415 篠田雅人（名古屋大）ほか：2009/2010年ゾドはなぜ起きたか（1）—拡張干ばつ・ゾドメモリ仮説</p>	11:00
<p>319 川村 壮*（北海道大・院）・橋本雄一（北海道大）：北海道沿岸における津波災害リスクに関する空間分析（2）—積雪寒冷地における港湾都市の津波災害に関する地理学的研究</p>	<p>416 飯島慈裕（海洋研究開発機構）：2009/2010年ゾドはなぜ起きたか（2）—ユーラシア大陸の寒気形成</p>	11:20
<p>320 最上龍之介*（北海道大・院）・橋本雄一（北海道大）：北海道沿岸における津波災害リスクに関する空間分析（3）—釧路市保育施設の津波集団避難に関する分析</p>	<p>417 立入 郁（海洋研究開発機構）ほか：2009/2010年ゾドはなぜ起きたか（3）—社会的要因の考慮</p>	11:40
-----		12:00
<p style="font-size: 2em; letter-spacing: 0.5em;">昼 休 み</p>		

## 第2日目 9月21日（日） 午前

開始時刻	第 5 会 場	第 6 会 場
9:00	第26回地理教育公開講座（公開）	シンポジウムS03（公開）
	ヨーロッパ世界地誌Q&A	BLSの地理的空間 —救急医療と地域防災への連携を考える—
9:20	主催）日本地理学会地理教育公開講座委員会 共催）日本地理教育学会	主催）日本地理学会理事会 後援）富山市・富山市消防局・日本赤十字社富山県支部・鹿児島大学地域防災教育研究センター
9:40	開始時刻 9:30	開始時刻 9:00
	コーディネーター： 田部俊充（日本女子大）	オーガナイザー：岩船昌起（鹿児島大） 司会：松井圭介（筑波大）・岩船昌起
10:00	講師：加賀美雅弘（東京学芸大） 松浦直裕（金沢西高） 高木 優（神戸大学附属中等教育）	〈趣旨説明〉9:00～9:08 岩船昌起（鹿児島大） 〈解説〉9:10～9:22 富山市消防局：119番通報から病院搬送への流れの説明 9:25～9:42 日本赤十字社富山県支部：一次救命処置の動画の紹介
10:20	コメンテーター： 中山正則（越谷市立大沢北小） 澤田和博（富山中部高）	S0301 9:45～9:02 山口史枝（国士館大）ほか：日本のAEDマップと霧島市のBLSマップ
10:40	総括：井田仁康（筑波大）	S0302 10:05～10:22 磯川橋花（加古川東高・生徒）ほか：神戸市三宮周辺におけるAEDの空間配置
11:00		S0303 10:25～10:42 小橋拓司（加古川東高）：高等学校「課題研究」におけるAED配置の授業実践
11:20	終了時刻 12:00	S0304 10:45～11:07 岩船昌起（鹿児島大）：BLSコミュニティと地域防災—地区防災計画の空間単位としてのBLS安全域 〈総合討論〉11:10～11:54 コメント：奥寺 敬（富山大）・大西宏治（富山大）・坂井繁之（日本赤十字社富山県支部）
11:40		〈まとめ〉11:55～12:00 岩船昌起
12:00	<div style="text-align: center; padding: 20px 0;"> <p>昼 休 み</p> </div>	

## 第2日目 9月21日（日） 午前

第 7 会 場	第 8 会 場	開始時刻
シンポジウムS11	シンポジウムS12	9:00
<p>フューチャー・アースと土地利用・陸域変化研究—交点・接点・基盤—</p> <p>日本地理学会土地利用・陸域変化研究グループ</p> <p>オーガナイザー：木本浩一（広島女学院大） ・氷見山幸夫（北海道教育大）・春山成子（三重大） ・土居晴洋（大分大）</p> <p style="text-align: center;">開始時刻 9:30</p> <p>〈趣旨説明〉9:30～9:40 木本浩一</p>	<p>ポスト満洲としての中国東北—フィールド調査に基づく地域像再考—</p> <p>日本地理学会中国地理研究グループ</p> <p>オーガナイザー：小島泰雄（京都大） ・小野寺 淳（横浜市立大）</p> <p style="text-align: center;">開始時刻 9:00</p>	9:20
S1101 9:40～10:00 季 増民（梶山女学園大）：持続可能な郊外地域・社会の形成	S1201 9:00～9:15 〈趣旨説明〉 小島泰雄（京都大）：いま日本で中国東北を考えること—吉林省松原市の農村開発を例として	9:40
S1102 10:00～10:20 春山成子（三重大）：災害研究とfuture earthプログラム	S1202 9:15～9:35 座長：小野寺 淳 魯 奇*・張 柏（中国科学院）：中国東北における人口・経済・景観のマクロ構造にみる百年変化	10:00
S1103 10:20～10:40 土居晴洋（大分大）：中国内陸地域の土地利用変化と諸要因—甘粛省の事例	S1203 9:35～9:50 張 貴民（愛媛大）：中国東北の農業開発—特に稲作の受容と拡大について	10:20
S1104 10:40～11:00 木本浩一（広島女学院大）：森林「周辺」域の形成・成立と共同森林経営の可能性—西ガーツ山脈（インド、カルナータカ州）の事例から	S1204 9:50～10:05 秋山元秀（滋賀大）：新京から長春へ—アジアにおける近代都市の展開	10:40
S1105 11:00～11:20 氷見山幸夫（北海道教育大）：「アジアにおける持続可能な土地利用の形成に向けて」とフューチャー・アース	S1205 10:05～10:20 松村嘉久（阪南大）：長春における満州国時代の観光資源をめぐって	11:00
〈質疑応答〉11:20～12:00	〈休憩〉10:20～10:30	
	S1206 10:30～10:45 座長：高橋健太郎（駒澤大） 阿部康久（九州大）：日系企業の進出と要因—実態と歴史的背景に関する再検討	11:20
	S1207 10:45～11:00 小野寺 淳（横浜市立大）：中国東北地区における地域開発の変遷	
	〔コメント〕11:00～11:30 張 柏（中国科学院）・山下清海（筑波大）・柳井雅也（東北学院大）	11:40
	〈総合討論〉11:30～12:00 座長：小島泰雄	
<p style="font-size: 2em; margin: 0;">昼 休 み</p>		12:00

## 第2日目 9月21日 (日) 午後

第 1 会 場	第 2 会 場
<p>シンポジウムS04 (公開)</p> <p>学校における地誌学習の 現状・課題・展望</p> <p>日本地理学会地理教育専門委員会</p> <p>オーガナイザー：志村 喬 (上越教育大) ・ 吉水裕也 (兵庫教育大) ・伊藤直之 (鳴門教育大)</p> <p>開始時刻 13:00 座長：伊藤直之 (鳴門教育大)</p> <p>S0401 13:00～13:10&lt;趣旨説明&gt; 志村 喬 (上越教育大) ほか：学校における 地誌学習の現状・課題・展望</p> <p>S0402 13:10～13:30 久山将弘 (岡山市立富山中)：中学校におけ る地誌学習の実態と課題</p> <p>S0403 13:30～13:50 西野真夫 (富山県立高岡高)：「地理B」に おける地誌の取り扱いの傾向について—富山 県の県立高等学校を例にして</p> <p>S0404 13:50～14:10 関口達紀 (前板橋区立板橋第六小)：小学校 における地誌学習の試み—板橋第六小学校研 究開発学校の実践から</p> <p>S0405 14:10～14:30 荒井正剛 (東京学芸大学附属竹早中)：中学 校における社会のあり方を考える地誌学習</p> <p>S0406 14:30～14:50 中本和彦 (四天王寺大)：中等地理・単元 「アメリカ」の教育内容開発—科学的社会認 識形成のための地誌学習</p> <p>&lt;休憩&gt; 14:50～15:00</p> <p style="text-align: right;">座長：吉水裕也 (兵庫教育大)</p> <p>&lt;コメント&gt; 15:00～15:20 永田成文 (三重大) ・矢ヶ崎典隆 (日本大)</p> <p>&lt;総合討論&gt; 15:20～16:20</p> <p style="text-align: center;">終了時刻 16:20</p>	<p>シンポジウムS15</p> <p>エスニック集団とホスト社会 —日本社会の多国籍化に向けて—</p> <p>オーガナイザー：山下清海 (筑波大) ・ 加賀美雅弘 (東京学芸大) ・片岡博美 (近畿大)</p> <p>開始時刻 13:00</p> <p>S1501 13:00～13:15&lt;趣旨説明&gt; 山下清海 (筑波大)：エスニック集団とホス ト社会—日本社会の多国籍化に向けて</p> <p>S1502 13:15～13:35 加賀美雅弘 (東京学芸大)：EU都市におけ るエスニック景観のコンフリクト—多文化共 存の可能性に向けた検討</p> <p>S1503 13:35～13:55 根田克彦 (奈良教育大)：2011年イギリス暴 動と暴徒特性</p> <p>S1504 13:55～14:15 大石太郎 (関西学院大)：ホスト社会として のケベックのディレンマとエスニック・コ ミュニティー「ケベックの価値」憲章をめぐ る論争から</p> <p>S1505 14:15～14:35 吉田道代 (和歌山大)：オーストラリアにお ける庇護申請者への対応—規制の強化と緩和 のはざまで</p> <p>S1506 14:35～14:55 山下清海 (筑波大)：新華僑の増加とホスト 社会—世界と日本の新旧チャイナタウンの事 例から</p> <p>S1507 14:55～15:15 福本 拓 (宮崎産業経営大)：「花街」から エスニック空間へ—大阪市生野区新今里にお けるエスニック・コンフリクトの表出</p> <p>S1508 15:15～15:35 片岡博美 (近畿大)：エスニック集団とホス ト社会との接点—ブラジル人住民が日本人住 民と接する「とき」そして「ところ」</p> <p>&lt;休憩&gt; 15:35～15:45</p> <p>&lt;コメント&gt; 15:45～16:05 杉浦 直 (岩手大・名誉) ・阿部亮吾 (愛知 教育大)</p> <p>&lt;総合討論&gt; 16:05～16:30</p> <p style="text-align: center;">終了時刻 16:30</p>

## 第2日目 9月21日 (日) 午後

第 3 会 場	第 4 会 場	開始時刻
<p>シンポジウムS14</p> <p>歴史時代の気候と災害</p> <p>日本地理学会気候と災害の歴史研究グループ</p> <p>オーガナイザー：三上岳彦（帝京大）・田上善夫（富山大）・財城真寿美（成蹊大）・平野淳平（防災科学技術研）</p> <p>開始時刻 13:00 司会：三上岳彦・平野淳平</p> <p>〈趣旨説明〉13:00～13:10 三上岳彦</p> <p>S1401 13:10～13:30 田上善夫（富山大）：14・15世紀の東アジアの気候変動の復元</p> <p>S1402 13:30～13:50 平野淳平（防災科学技術研）：東京周辺における複数の古日記天候記録を用いた18世紀以降の夏季気温変動の復元</p> <p>S1403 13:50～14:10 山田浩世（学振PD）：文献史料より見た琉球・奄美の災害状況—1830年代を中心に</p> <p>S1404 14:10～14:40 Rudolf Brazdil (Masaryk Univ.): Climate, droughts and floods in Central Europe during past 500 years</p> <p>S1405 14:40～15:00 庄 建治朗（名古屋工業大）：古記録による歴史時代の琵琶湖洪水の復元</p> <p>S1406 15:00～15:20 佐野雅規（総合地球環境研）ほか：樹木年輪の酸素同位体比による過去400年間の東アジア夏季モンスーン変動の復元</p> <p>S1407 15:20～15:40 芳村 圭（東京大）：アンサンブルカルマンフィルタを用いた水同位体比データ同化システムの構築</p> <p>S1408 15:40～16:00 取出欣也*・芳村 圭（東京大）：データ同化を用いた歴史天候復元に向けて—理想実験による実現可能性の検討</p> <p>〈総合討論〉16:00～17:00</p> <p>終了時刻 17:00</p>	<p>シンポジウムS13</p> <p>近代日本における地方拠点的地域の形成過程と人間主体の社会空間的活動</p> <p>日本地理学会近代日本の地域形成研究グループ</p> <p>オーガナイザー：山根 拓（富山大）・中西僚太郎（筑波大）・河野敬一（常盤大）</p> <p>開始時刻 13:00 司会：中西遼太郎</p> <p>S1301 13:00～13:10〈趣旨説明〉 山根 拓（富山大）：シンポジウム趣旨説明</p> <p>S1302 13:10～13:30 川崎俊郎（福島高専）：地方都市の工業化における地方有力者と外部資本の役割—郡山と倉敷を比較して</p> <p>S1303 13:30～13:50 品田光春（日本大・非）：近代長岡の都市形成における商工業者の役割</p> <p>S1304 13:50～14:10 河野敬一（常盤大）：近代筑豊地域の形成と地方財閥の動向</p> <p>S1305 14:10～14:30 三木理史（奈良大）：都市形成期の小樽における移動行動—「稲垣益穂日誌」の分析から</p> <p>〈休憩〉14:30～14:40</p> <p>S1306 14:40～15:00 司会：河野敬一 松山 薫（東北公益文科大）：昭和初期の「大呉市」成立過程</p> <p>S1307 15:00～15:20 中西僚太郎（筑波大）：近代下関の発展と地方企業家の活動—秋田寅之介に注目して</p> <p>S1308 15:20～15:40 山根 拓（富山大）：国際港湾都市の近代化と人間主体—敦賀と長崎</p> <p>S1309 15:40～16:00 河原典史（立命館大）：植民地期朝鮮における缶詰製造業の展開—竹中缶詰製造所の朝鮮分工場</p> <p>〈休憩〉16:00～16:10</p> <p>〈コメント〉16:10～16:20 司会：山根 拓</p> <p>〈総合討論〉16:20～16:55</p> <p>終了時刻 16:55</p>	

# 第1・2日目 9月20・21日 (土・日)

## 第9会場

### ポスター発表

ポスター発表は、9月20日(土)13時～17時30分と9月21日(日)9時～15時、第9会場で行われます。発表者による説明は、9月20日(土)17時～17時30分もしくは9月21日(日)12時～12時30分に行いますので、多くの会員の参加を希望します。

P001	紺野祥平(農業・食品産業技術総合研究機構)ほか: アンサンブル予測実験結果を用いたイネ葉いもち病発生確率予報と気象データの関係	P012	茗荷 傑(首都大): 渡良瀬川河川敷の土地機能喪失に関する研究
P002	高橋 洋*・松本 淳(首都大): 日本の冬季における豪雪の長期変動と年々変動	P013	平塚直史(日本大・院)ほか: 千葉県内の遺跡から産出した鳥類化石群による古環境復元と人為的影響
P003	榊原保志(信州大)ほか: 気圧を用いた長野盆地に侵入する冷気の観測	P014	Haruyama Shigeko (Mie Univ.) et al.: Holocene sediment at Iduk III near Kom al-Diba'a archaeological site, Egypt
P004	福岡義隆*(立正大・名誉)・丸本美紀(お茶の水女子大・院): 盆地都市の気候特性—都市的気候を強調するアメダスの問題点	P015	田中 靖(駒澤大)ほか: 地形発達シミュレーションモデルの高度化に向けた解決すべき課題の定量評価—室戸半島の海成段丘を事例として
P005	瀬戸芳一*(首都大・院)・高橋日出男(首都大): 関東平野における夏季日中の局地風系出現型と気温分布との関係	P016	船引彩子*・小熊正人(日本大): 地中熱リファレンスマップの提案
P006	山添 謙(日本大): 東京における温湿指数に基づく暑熱夜の出現状況	P017	中村真介*(白山手取川ジオパーク推進協議会)・青木賢人(金沢大): ユネスコエコパークとジオパークの制度比較
P007	坂口美優*(専修大・学)・赤坂郁美(専修大): 石神井公園におけるクールアイランド現象と冷気のにじみ出し効果	P018	松尾 宏(水土地域研究工房)ほか: ネパール・テライ低地における農村集落の水利用に関する研究(3)
P008	神田 萌*(専修大・学)・赤坂郁美(専修大): 横浜駅周辺における気温分布とソメイヨシノ開花日の関係	P019	松本 太(敬愛大・非)ほか: ネパール・テライ低地中央部ナワルバラシにおける住居の屋内温熱環境(2)
P009	遠藤 涼(東京大・院)ほか: 木曾駒ヶ岳東部における多重山稜の形成と形成後の周氷河環境	P020	中村圭三(敬愛大)ほか: ネパール・テライ低地中央部ナワルバラシにおける 全日射量・降水量・蒸発量観測結果(2013年)
P010	齋藤 仁(関東学院大)ほか: 斜面崩壊発生基準雨量と確率雨量との関係—九州山地・市房山と阿武隈山地を対象として	P021	宮岡邦任*(三重大)・吉田圭一郎(横浜国立大): ブラジル・アマゾンでの自然と生活(4)—異なる土地利用条件における地下水湧出と水位の季節変化
P011	吉田英嗣(明治大): 流れ山地形からみた古羊蹄火山の山体崩壊量	P022	Ayoub Asim* (Graduate Student, Mie Univ.) and Haruyama Shigeko (Mie Univ.): Water resources and agriculture usage in Afghanistan

# 第1・2日目 9月20・21日 (土・日)

## 第9会場

### ポスター発表

ポスター発表は、9月20日(土)13時～17時30分と9月21日(日)9時～15時、第9会場で行われます。発表者による説明は、9月20日(土)17時～17時30分もしくは9月21日(日)12時～12時30分に行いますので、多くの会員の参加を希望します。

P023	浅見和希(法政大・学)ほか:高山湖沼の水環境に関する予察的研究—御嶽山・乗鞍岳を事例に	P035	魯一成*(三重大・院)・春山成子(三重大):北京市の経済発展から見た都市問題に関する考察
P024	小寺浩二(法政大)ほか:五島列島の水環境に関する予察的研究—2014年5月と8月の現地調査結果から	P036	松永光平(慶應大):グローバルデータセットによる都市の持続可能性評価
P025	Marumoto Miki *(Graduate Student, Ochanomizu Univ., ) and Fukuoka Yoshitaka (Rissho Univ.): The secular and spatial change of paleoclimatic disasters from A.D.601 to A.D.1200: A comparative study in Nara and Kyoto	P037	佐藤廉也(九州大)ほか:U-2機撮影の中国大陸空中写真—カメラ・写真の特性と判読事例
P026	黒木貴一(福岡教育大)ほか:霧島新燃岳噴火後の開析谷の地形変化	P038	林琢也(岐阜大):食と農の乖離を乗り越えるために—岐阜市における実態調査から
P027	小山拓志(大分大)ほか:佐伯市沿岸部集落における防災・減災意識と空間的特質の関係	P039	戸田真夏(青山学院大・非)ほか:大学生の国内旅行と旅行情報源(1)—男女差の視点から
P028	早崎有香(千葉大・院)ほか:ラジコン電動マルチコプターによる空間線量率の三次元計測	P040	谷口智雅*・宮岡邦任(三重大):大学生の国内旅行と旅行情報源(2)—地域差の視点から
P029	田中伴樹(千葉大・院):里山流域における放射能汚染の実態と移行過程の地理学的認識	P041	横山俊一(お茶の水女子大・研)ほか:東京都を対象とした旅行ガイドブックの地域的特徴について
P030	佐藤周(千葉大・学)ほか:福島県川俣町山木屋地区における里山の変遷と原発事故による人と自然の分断	P042	小池拓矢(首都大・院):観光対象の特徴からみた観光行動の分析—パッケージツアーのルートを事例として
P031	瀬戸真之*・高木亨(福島大):地誌学的視点からみた被災地域の時系列変化	P043	卯田卓矢・阿部依子*(筑波大・院):過疎地域における行政を主体とした祭りの文化資源化の意義と課題—佐久市望月の榊祭りを事例として
P032	内山庄一郎(防災科学技術研)ほか:Structure from Motionによって生成したDSMの応用可能性—西表島仲間川下流域のマングローブ林の事例	P044	渡辺亮佑(筑波大・院)ほか:中山道望月宿における歴史的町並みの地域的特性
P033	大友萌子(東北学院大・院)ほか:マングローブ環境の中にみる居住地の立地環境変化—ベトナム・ホーチミン市周辺—の例	P045	山田周二(大阪教育大):奈良盆地中西部における地域の歴史を表す事象の分布とその地理教材としての価値
P034	森永由紀(明治大)ほか:モンゴルの牧民の馬乳酒製造に関する伝統知識		